

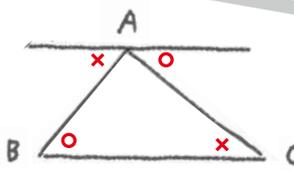
岡山大学
大学院教育学研究科
教育科学専攻

教員 図鑑

PROFESSOR FILE

Vol.01

英語	岡田 和也	人文・社会 / 文学一般
情報	笠井 俊信	教育学 教育情報工学
保健体育	高橋 徹	身体教育学
社会	大熊 正哲	経済学
養護	津島 愛子	学校保健医科学
理科	原田 太郎	生物学 植物学 園芸科学
数学	中川 征樹	数学
心理	三宅 幹子	発達心理学 教育心理学
美術	松浦 藍	美術教育学



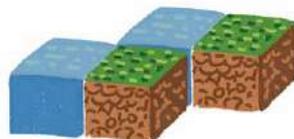
教育学の視座を持ち 専門にふれる

はじめに

岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻では、「教育で『世界』を拓く」という理念の下、多様な学問分野に関する教育・研究を行っています。他学部でも近い内容の研究をされている教員がおられるかもしれませんが、教育学の視座を持ちつつ、それぞれの専門にふれると実に多彩で興味深い専門性があることに気が付きます。それらの研究には教育学研究科でしか深めることができないことが多々あります。岡山大学大学院教育学研究科はそれが可能な数少ない大学院です。このような教員の研究内容について、当専攻や各研究分野のホームページでも紹介していますが、当専攻を進学先として考えてくださる皆さんの琴線に触れるメッセージを届けられればという思いから、「教員図鑑」の編纂を構想しました。

この図鑑は、当専攻所属教員のそれぞれの研究にスポットを当て、各研究室で行われている専門研究をイメージしていただけるよう、学問のおもしろさ、研究室の雰囲気、求める人材やその成長の姿などユニークな視点でまとめたものです。デザイナーの船越亮太氏の手によるイラストは、皆さんの想像を楽しく掻き立ててくれることでしょう。Vol.1では9名の教員を紹介しますが、今後、新たな教員の情報を順次追加していく予定としています。図鑑内に掲載されているリンク先の情報も含め、大学院進学の際の情報収集にぜひご活用いただければ幸いです。

岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻



詩を作れるのは
選ばれし才能？

私は *NO* だと思う。

詩は誰にでも作れます。小学生にも、大学生にも。
ただ、つくり方を知らず、つくる機会にも恵まれない。
多くの人はそうやって過ごしているかもしれません。
何かを表現することは、あなたの世界を広げます。
素晴らしい文芸創造の世界へようこそ。



Photo:
Kotaro Miyake

岡田 和也 OKADA KAZUYA	専門	人文・社会 / 文学一般		
	研究キーワード	文学 朗読		
教育学域 准教授	授業内容 1学期 英語の詩の基本的復習と英語で詩を創作する経験 2学期 英語の詩を書くときのテクニック 3学期 英語で詩を書くこととそれを日本語で把握すること 4学期 英語の詩と自分と向き合うこと	主要研究課題 近現代英語圏の詩人の研究。 英語絵本の研究。言語創作活動の研究。	もっと知るには 	
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当				
学位 文学博士				

みごの創造的英文学



01 詩人みごなごみの活動

私は大学で教鞭をふるいながら、詩人 みごなごみとして活動しています。詩集を作ったり、絵本の翻訳をしたりしながら、カフェで、プラネタリウムで、ライブミュージシャンのように詩を朗読してきました。2004年『彼岸バス』で松崎義行賞など。



05 英文学者

研究内容はマザーグース翻訳を用いたものをはじめ、英語圏でのこどものために書かれた詩作品の分析など多岐に渡ります。翻訳絵本として、サラ・ファネリ『オニオンの大脱走』(ファイドン、2012年)などもあります。

02 詩人に学ぶ文学教育



詩は特別なものではなく、誰もが扱える表現の一つ。文学教育の基本を押さえつつ、詩の視点を取り入れた授業では、詩を実用的かつ創造的なツールとして扱います。詩を「読む」のはもちろん、「つくり」、「使う」力を磨くことで、あなたの教師人生はもっと豊かになることでしょう。

人に伝える恐怖 人に伝わる楽しさ



先生とは恥を捨てることが大切です。授業やワークショップでは、参加者の心をほぐしてその気にさせる為に知恵を絞ります。その準備や実践を通して、人に伝える難しさと怖さを知り、その先に待つ伝わる楽しさも味わって欲しいと思います。



03 魅力的な言葉を放つために

まず大切なのは、声に出して読むこと。命のこもった文章は読むたびに味わいが深まります。読むと紡ぐを正しく繰り返すうちに、あなたも生きた言葉を生捕りする感覚が掴めるはず。詩や英文学を通して言葉との対決を繰り返していきましょう。



07 体験を重視 ワークショップ

例えば小学生50人と「か」のつく言葉で詩を作るワークショップ、中学生150人と詩をつくるなんてことも。ワークショップに限らず、体験を通じての成長を重視しています。「みご先生の授業は卒業してから生きてくる」、なんて言われることもしばしば。

04 自分にもできた！ が子どもを育てる



自分ができないことは、子どもにも教えられないでしょう。まずはあなた自身が、表現を楽しみ、成功体験を積み上げてください。そのために必要なちょうどいい踏み台を用意して待っています。

文学
教育

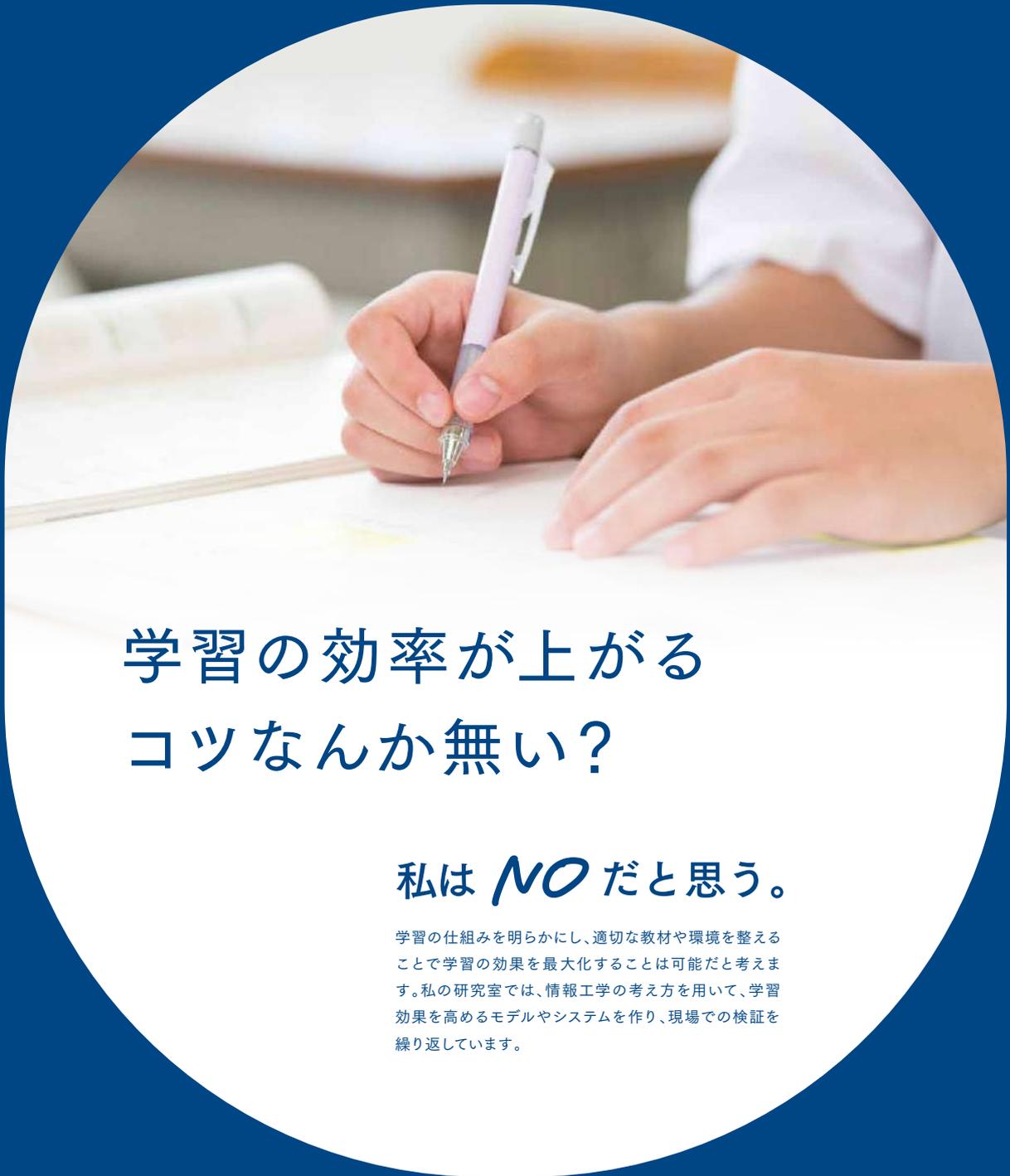


詩人

08 創造性教育



近年は創造性教育にも力を入れています。「詩や絵や言葉の応用と分析」をベースに、様々な授業をおこなっています。例えば、「ある絵画を見てそれを詩にして表してみる」なんてワクワクしませんか？



学習の効率が上がる コツなんか無い？

私は **NO** だと思う。

学習の仕組みを明らかにし、適切な教材や環境を整えることで学習の効果を最大化することは可能だと考えます。私の研究室では、情報工学の考え方をを用いて、学習効果を高めるモデルやシステムを作り、現場での検証を繰り返しています。

笠井 俊信 KASAI TOSHINOBU	専門	教育工学 教育情報工学	
	研究キーワード	教育情報工学 授業設計 知的学習支援 教師教育	
教育学域 教授	授業内容	主要研究課題	もっと知るには 
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当	専門科目である情報数学や知識工学に関する授業だけでなく、課題解決型科目として「教育科学とICT」の授業を担当しています。 この授業では、安全に情報技術を活用するための情報倫理の基礎を理解し、より効果的に教育にICTを活用する方法について学びます。	「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びでしょう?このような曖昧な概念をモデル化することで、実践された授業をこの観点で評価した結果を可視化する手法を研究・開発しています。さらに、この授業評価手法に基づいた授業設計支援手法の研究・開発も行っています。	
学位 博士(工学)(電気通信大学大学院)			

笠井の教育情報工学

01 情報工学の立場から教育を見る



教育情報工学とは、情報工学のモデル的な考え方を教育に応用する学問です。教育は人によって学び方が違い、同じインプットでもアウトプットが異なります。一方で情報工学は再現性を重視する世界です。この2つを融合させ、今までモデル化されてない領域をアップデートし、より良い学習環境を提案します。

05 将来の自分のために課題を解決する



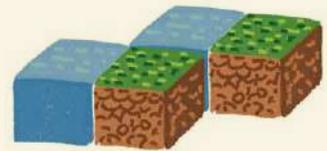
研究を始める前に自分が「将来どうなりたいか」まで考えて、自分にとって本当に必要なことを課題として設定してもらいます。具体的な目標を定め、論理的に実行可能な解決策をイメージ、行動する。そのプロセス自体を体験することで、その後の成長スピードにも差が出ると考えています。

02 希少な専門領域



情報工学を専門としながら、教育現場での実践検証まで行う研究者は多くはありません。理論モデルの構築に留まらず、教育現場で実際に活用できる形にまで発展させることを目指します。机上の空論ではなく、教員養成や学校現場での実用性を重視し、研究と実践の橋渡しの存在を目指します。

06 マインクラフトで水害を再現



プログラミング教育の教材を作成した学生は、過去に発生した水害をマインクラフトの世界で再現。そして子どもたちが被害を防ぐためにプログラミングを勉強できる授業を開発しました。「プログラミングには目的がないと面白くない」という学生の問題意識から生まれた興味深い事例でした。

03 例えば「深い学び」とは何だろう



近年重要視される「主体的・対話的で深い学び」。この「深い学び」とは何なのか、先生も理解しないまま授業が行われることもあります。その「深い学び」をモデル化してみると、例えば公式を覚えるだけではなく適切な時に使える、似たような物と比較しながら考えられる、など。このように曖昧なものをモデル化することで、現場で活用できる状態にします。

07 非常勤講師かつ研究をした卒業生



非常勤講師をしながら修士課程を修了した学生がいました。週一回現場で授業をしつつ、修士の単位を全て取得し卒業しました。研究の理論を現場で実践。そして成果の分析を繰り返すことで優れた研究を実現。2年間続けたその成果は、学会で賞を受賞するまでに至りました。

04 データサイエンスで大切なこと

ABC

データを分析する力も重要ですが、最も大切なことは「どの情報を取り上げるか」という点です。単独のデータを鵜呑みにせず、複数の情報を集め、論理的に整理し、矛盾なく説明できるかを考えることで、正しい情報に近づけます。しかし、この思考には手間がかかり、習慣化が必要です。過去の事象と現在を関連付け、情報の矛盾を見抜く力を養っていきましょう。

モデル



教育

08 AIやVRなど新しい物好き歓迎

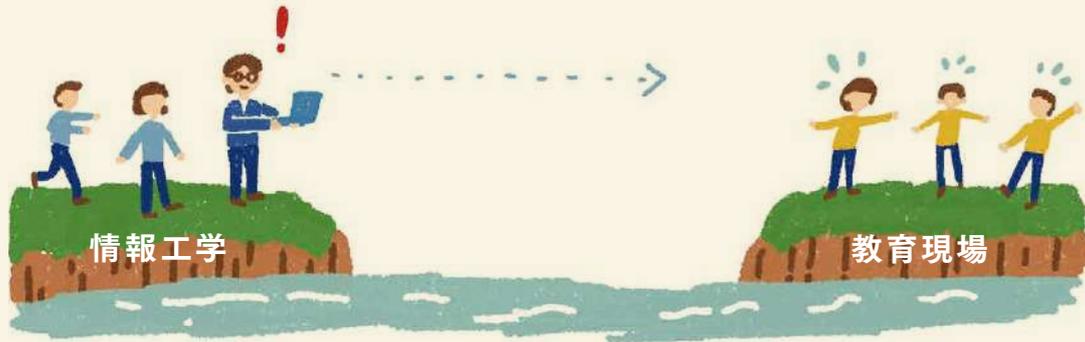


情報工学の分野は論理的思考が強い人が向いていますが、数学が得意である必要はありません。生成AIの仕組みや教育用マインクラフト、VR技術など、新しい技術に興味を持ち、自分で試してみたいという好奇心が大切です。関わる分野は広く、最新のテクノロジーなどが好きな人には特に適した領域です。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

距離ができがちな
工学と現場をつなぐ研究室



現場の課題を見つけたら、情報工学の知見を用いて、解決策を模索。



その解決策を現場で実践し、モデルの精度を上げる。
この思想を学生たちは身近で学ぶことになる。



将来的には、その考え方を身につけた学生が教育現場で働くことで
現場を内部から解決できる力を育む。

笠井 俊信

KASAI TOSHINOBU

専門

教育工学 教育情報工学

研究キーワード 教育情報工学 授業設計 知的学習支援 教師教育

もっと知るには





体育の授業では 逆上がりができるように ならなきゃいけない？

私は *NO* だと思う。

体育の授業ではその子の生きられる世界を広げることが大切だと考えています。例えば、外国語を学ぶことで新しい世界が広がるように、体の使い方の自由度が増すことで、豊かに生きられる世界も少し広がります。当たり前に行われる授業も、「からだと環境の関係を円滑にする」と考えると新たな体育の姿が見えてくるのではないのでしょうか。

高橋 徹 TAKAHASHI TORU	専門	身体教育学	
	研究キーワード	体育・スポーツ哲学 スポーツ教育 野外教育	
教育学域 講師	授業内容	主要研究課題	もっと知るには 
大学院：教育科学専攻(修士課程) 担当	担当している「教育科学特論(体育学)」、「教育科学特論演習(体育学)」の授業では、体育学の人文領域の研究を進める上での基礎となる研究方法、研究対象、研究動向を確認するためにテキストの解説、および関連論文についての受講者間での輪読を行っています。	戦後以降の日本の体育授業の考え方や授業方法に対するアメリカの教育思想や体育理論からの影響について研究しています。また、最近では体育の近接領域でもある野外教育分野の思想研究についても取り組んでいます。	
学位 博士(体育科学)(国士舘大学)			

高橋の体育学



01 立ち止まって考える 体育哲学

体育哲学とは、運動の価値などについて哲学思想的な方向からアプローチする学問です。「なぜ時間割の中に体育があるのか」といった問いから始まり、身体活動を通じた人間の成長や生き方を探求していきます。体育なのに「ちょっと待てよ」と止まって考える、面白い学問です。

02 キャンプにスキー 野外教育



野外教育は、自然体験活動などを通じて学ぶものです。小学校の海の学校や山の自然の家のような体験が代表的ですが、「野外」は必ずしも自然に限りません。学校という枠を超えた学びの場こそが野外であり、そこに教育の可能性を見出すことが、野外教育の面白さだと考えています。



03 器械体操、 体づくり運動

専門種目は器械体操。学生時代も体操競技に打ち込んでいました。また、「体づくり運動」も専門の一つです。学習指導要領では「心と体を一体として捉える」ことが重視されており、体づくり運動にはその考えを育むという側面もあります。

04 学会を通じて 広がるつながり

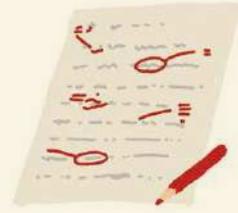


2024年は岡山大学で「日本体育・スポーツ哲学会」を開催し、学生にも共にスタッフとして参加してもらいました。2025年の「日本野外教育学会」では大学院生が研究発表をします。こうした学会活動を通じて、学生や院生が研究者と交流し、つながりを広げる機会を作れたらと考えています。

身体教育



哲学



05 日本語や言葉を 大切に

論文指導では、「テーマや考察も大事ですが「きちんとした文章を書くこと」に一番を入れています。そのため、徹底的に修正指示を入れることもあります。人文系の研究は実験データではなく言葉で説明する分野だからこそ、誰が読んでも伝わる文章に仕上げることを大切にしています。

06 おしゃべり好きは 研究者向き



この研究室では、おしゃべりを大切にしています。研究では他者の意見に興味を持つことが大切で、対話を通じて考えを深める力が必要です。また、体育は嫌いだけどスポーツは好き、という学生もいます。そうした違和感に気づくことは論文を書く上でとても大切です。



07 卒業研究 体育に競争は必要？

近年、体育の授業では競争の必要性が問われる傾向にあります。ある卒業生は「競争は必要なのかなのか？」というテーマで研究を進めました。学習指導要領や関連する文献の変遷を追い、歴史的視点から競争の捉え方を分析。競争はスポーツ本来の文化的価値であり、大切にすべきものではないか、という結論に至りました。

08 ざっくばらんな 関係性



学生とはざっくばらんな関係を築くようにしています。例えば、LINEでの連絡もOKにして、コミュニケーションをスムーズに。実習では学生と共にスキーやスノーボードに取り組み、温泉にも一緒に入ったこともあり。学生にとっても、気軽に相談できる環境を作ること心掛けています。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY



読書を大切に
しています

私の研究室では、体育なのに読書をかなり重要視しています。

体育なのに
止まって考えたり
アウトドアで
活動する
研究室



からだを
賢くする

特定のスポーツが上手くなるのではなく、自分のからだを上手に扱えるようになる授業作りを心がけてます。



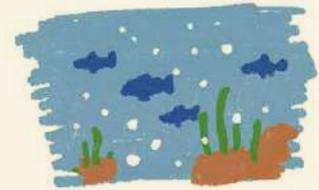
キャンプ
好きなら、、、

キャンプ好きな院生は、自らの体験をベースに「自然の美しさと教育の関係」の研究をはじめました。



考

THINK



地球全部が
遊び場になるよ

ダイビングのインストラクターに言われた一言が、世界の広がりについて考えるヒントにもなりました。



スキー・スノボに
マリンスポーツ

私自身アウトドアスポーツが大好きなので、屋外で活動することが好きな人とは気が合うでしょう。

身体教育学

動

ACTION



からだを動かすのも
大好き

授業では学生以上に楽しそうにマットやとび箱、鉄棒で体を動かしています。

高橋 徹

TAKAHASHI TORU

専門

身体教育学

研究キーワード 体育・スポーツ哲学 スポーツ教育 野外教育

もっと知るには



ビッグデータは 教育課題を解決する 魔法の杖か？

私は **NO** だと思う。

ただ集められた情報に価値はない。
そのなかから「原因」と「結果」を科学的根拠を基に見出すことができなければ、どんな貴重なデータも「宝の持ち腐れ」です。それを可能にしてくれるのが、経済学という強力な分析ツール。
これからの時代に経済学の見方・考え方とその高度に洗練された方法論を身に付けることは、どんな現場でも間違いなく強みになりますよ。



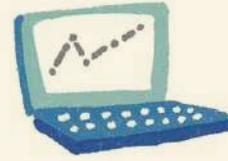
大熊 正哲 OHKUMA MASANORI	専門	経済学		
	研究キーワード	応用計量経済分析 金融論 教育経済学 地域経済		
教育学域 准教授	授業内容	◎ 教育データサイエンス学位プログラム 「教育科学のための計量分析 I」、「教育科学のための計量分析 II」、「教育科学のための計量分析演習 I」、「教育科学のための計量分析演習 II」ほか ◎ 教育学学位プログラム 「教育科学特論(経済学 I)」、「教育科学特論演習(経済学 I)」、「教育科学特論(経済学 II)」、「教育科学特論演習(経済学 II)」ほか	主要研究課題 ミクロ計量経済学的手法を用いた政策・実践評価	もっと知るには 
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当				
学位 博士(経済学) (早稲田大学)				

大熊の経済学



経済理論と統計的手法を方法論の両輪として、さまざまな社会課題を解決するための処方箋を提示します。そのためには分析方法の厳密性ととも、現実の社会に対する鋭敏な問題意識が問われます。

01 「経済学×データサイエンス」で社会課題解決



いま、あらゆる科学研究や臨床実践の現場は「因果革命」のただ中にあります。その方法論的な基礎付けをしているのが、「統計的因果推論」といわれる統計分析の新しい枠組み。その経済学研究への応用が現在の主要な研究課題です。

05 「なぜ」の問いを科学する

02 経済だけじゃない経済学!?



経済学は「社会科学の女王」とも称されるエキサイティングな学問。その準備範囲は社会における人間行動のすべてに及ぶといっても過言ではありません。経済学だけ、経済だけじゃないんです。もちろん、教育という営みも経済学の主要な研究対象の一つ。

06 学生を育てるノウハウ



研究室には多様な専門性を有する学生が集います。学部時代に経済学や統計解析になじみがなかった学生を、これまで培ってきた各自の専門性を活かして一気に大学院レベルの研究ができるまで指導します。こうしたノウハウがあるのも、教育学研究科ならではのかも？



教育に求められるのは「経験・勘・気合」の“3K”？もちろんそれらも大事ですが、学術研究から得られたエビデンス(実証の根拠)を活用すれば「鬼に金棒」のはず。エビデンスを「つくる」のは、私たち経済学者のしごとです。

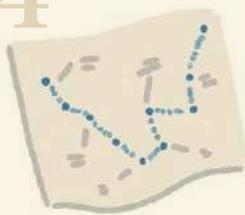
03 「エビデンスに基づく教育」



きわめて高度に数理化されている現代経済学。でも、社会科学の一分野であるからには、その基底には社会に対する鋭敏な問題意識があります。現代社会が抱えるさまざまな問題に対してアンテナを高く張り続けること、また、研究者としての自らの比較優位を問い続けること。そこから、研究の新しいアイデアが生まれます。

理系と闘える着眼点とアイデア

04 データサイエンス 教育学研究科ならではの



データサイエンティストとしての競争力は、データサイエンスの汎用的な知識・技能と分析対象に固有のドメイン知識の掛け合わせで決まります。教育学研究科で教育という営みに対する洞察力を鍛えることは、将来かけがえのない強みになりますよ。

問題意識



効果検証能力



実践知

やさしく面白く二人三脚で



「その研究のどこがおもしろいの?」「その研究にどんな意義があるの?」「その研究のオリジナリティは何なの?」—学生と徹底的に議論しながら、修士論文提出まで伴走します。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

01 なぜ経済学を学ぶのか？ 話はそこから始めます

そもそもなぜこの学問が必要なのか。それを実感していると、成長スピードはまるで違います。経済学未修者も多いため、研究指導は丁寧に。経済学がわかると、世界がまるで違って見えますよ。

学生



経済学？
そもそも
面白いの？

02 研究テーマの設定には 徹底的にこだわってほしい

研究計画は新規性・独自性・実現可能性などを考慮する必要があります。学生アイデアを基に、「おもしろい!」と言ってもらえる研究ができるようにアドバイスしていきます。

えっ！



そんな考え方
思いつかなかった

03 分析の結果よりも 大事なものは方法です

1つ1つの内容をきちんと説明できる？ 質問されたことに真摯に向き合いながら答える姿勢が大事です。その分析方法が本当に適切なのか、自分の頭で徹底的に考えることで、はじめて科学的議論に耐えられる研究になります。

頑張れる！



優しさと厳しさの
バランス最高！

05 「経済学×データサイエンス」を武器に 社会で活躍する修了生たち

学校関係者を主な顧客とする企業で働くある修了生は、市場調査や在庫管理の業務に大学院での学びを役立てているとか。これも研究を通じて高度な知識・技能を自律的に学ぶための知的土台がしっかりとつくれたからこそ。

先生感謝



あれ？就職しても
なんか良い感じ

06 修了後に在学時のやりとりを 見返すらしいです

就職しても、院生時代を思い出す学生も多いと聞きます。修士論文の草稿にこんなコメントが書いてあったなあと、辛いことがある度に読み返すのだそう。修了後のメンバー同士のつながりも研究室の大切な財産です。



あの頃のチェックに
ぬくもり感じる

大熊 正哲

OHKUMA MASANORI

専門

経済学

研究キーワード 応用計量経済分析 金融論 教育経済学 地域経済

もっと知るには



保健室は学校の 病院でしょうか？

私は **NO** だと思う。

「保健室は学校の病院」「養護教諭は学校のお医者さん」。そんなイメージを持っていませんか。もちろん医学的な知識は大切ですが、学校全体で子どもの健康を育み、その学びを基礎から支える専門家でもあります。子どもの身体・健康状態を把握して、身体能力の向上や健康増進につなぐ。子どもを元気にして、学校や地域、そしてみんなをイキイキさせる。そんな面白い仕事をしたい。養護教諭を目指しませんか。



津島 愛子 TSUSHIMA AIKO	専門	学校保健医科学	
	研究キーワード	運動器検診 ストレッチング 健康科学 整形外科学	
教育学域 講師	授業内容	主要研究課題	もっと知るには
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当			
学位 博士(学校教育学) (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科) 学士(医学) (岩手医科大学)	健康科学の理論と実践を基盤に、講義や文献講読を通じて現代の子どもたちの健康状態を把握し、養護教諭に求められる役割や具体的な支援の在り方について探求する。特に、子どもに多く見られる運動器疾患(外傷や障害を含む)に焦点を当て、その原因を理解し、予防及び対応について学ぶ。	「学校現場におけるREDs(スポーツにおける相対的なエネルギー不足)の実態」、「運動器検診を効果的な保健管理・保健教育に活かすための保健調査票とストレッチングプログラムの提案」、「実業団女子陸上競技部に所属する女子長距離選手における疲労骨折の現状と課題」など学校、スポーツ現場における運動器に関する実態調査や予防に関する研究に取り組んでいる。	

津島の学校保健医科学



01 養護教諭人生を イキイキさせる

養護教諭としてイキイキと活躍し続けるには、学校保健の知識だけでなく、周囲と連携する力が重要です。「困る前の準備」「環境づくり」「行動力」を育み、現場で実践する力を育成します。学校全体で支え合う雰囲気を作り、より豊かな教諭人生を目指しましょう！

02 現役臨床医による ハイレベルな知識



病院での整形外科臨床医としての勤務を活かし、実際のレントゲンや治療などから得た知見を指導に取り入れています。教科書では伝えきれない怪我の詳細や回復の過程を知ること、児童への理解や対応がより深まり、向き合い方も変わっていくことでしょう。



03 プロアスリート級 現場での対処法

プロスポーツチームのDr.として培った、選手のコンディション管理や怪我の予防策は、保健室での対応にも役立ちます。怪我の応急処置や原因追求、再発防止策など、現場で磨いた知識やノウハウを基に、実践的なスキルも伝えていきます。

04 怪我や病気を防ぐ 伝え方



病院の診察と違い、健康な人に病気や怪我への関心を持ってもらうには、伝える工夫が必要です。聞き手の気持ちを想像し、ストーリーやケースメソッドを活用することで、「自分ごと」に感じてもらえます。この技術は、学校内でコミュニケーションを円滑にする力にも繋がります。



05 子どもの発育・発達を 応援できる研究を

今、私が力を注いで研究を進めているのがREDsについて。スポーツに取り組むことは大方カラダに良いことだと思いがちですが、子どもたちが健康に発育するためには個々のレベルに合わせた強度を考慮することが重要です。誤った指導が行われないように、研究・啓蒙を進めています。

3つの現場で 学校・病院・プロスポーツ、



附属学校、医療機関、そしてプロスポーツの現場、3つの環境を対象に研究を行うことも、ここなら容易です。多様なフィールドを掛け合わせることで、より深い濃密な研究が期待されます。異なる領域での出会いや経験も、あなたの視野を広げ、大きく成長させてくれることでしょう。



07 実践研究から 統計分析まで

実際の教育現場を体感できる機会をしっかりと用意しています。健康診断等のボランティア活動は現場の先生とゆっくり会話できるいい機会にもなるようにオススメです。また研究に不可欠な統計スキルまで身に付けられます。統計ソフトの使い方から分析力の強化まで、実践的な経験を積んでもらえます。

08 やる気を信じる 柔らかな指導



考える時間やディスカッションを大切に、「学ぶきっかけ」を提供することを心がけています。一人ひとりの個性や考え方に寄り添いながら、やる気や成果を引き出すアプローチを重視。意欲的な学生がどんどん成長する姿から、私自身も多くの学びを得ています。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

思い

教育の可能性

養護教諭の能力向上は、学校保健全体の質を高めます。それはやがて、教職員や児童生徒が健康で元気で、やりたいことに挑戦できる社会の実現につながります。

研究の話

共同研究

実践研究の一環として、現職の先生方が忙しくて取り組みづらい「分析・考察」などを支援し整理・体系化。これにより研究室も現場の知見を獲得し、実践的な研究を深めています。

困った時の助けの求め方わかる？

話はゆっくり最後まで聞くタイプ

自分からつながる力を育てよう

顔見知りが多いので、許可どりがスムーズですよ

指導というよりもヒント提供が得意

スポーツ選手は健康のモデルになりやすいよ

学生の話

データサイエンス

データサイエンスを得意とする彼女は、大学の活動以外にも、現職の先生との勉強会で、生成AI等の情報を提供したり。得意なことは世界をどんどん広げてくれますね。



スポーツ

医療

学校

卒業生の話

現職を経て研究者に

ジェンダーに関する研究をしていた彼女は、数年の現職を経て、今は大学教員、博士課程で研究者として頑張っています。可能性は色々広がりますね。

笑い声が隣の部屋まで響くような研究室です

卒業後の相談事も大歓迎

ストレッチの動画教材つくってみる？

津島 愛子

TSUSHIMA AIKO

専門

学校保健医科学

研究キーワード 運動器検診 健康科学 整形外科学

もっと知るには



植物の生存に
人間は必要でしょうか？

私は **NO** だと思う。

植物は人間なしでも生きていけるどころか、繁栄のためにはいない方がよいかもしれません。しかし、私たち人間は自然に依存しないと生きていけません。研究や教育を通じて植物に目を向け、私たちの行いや存在について考える機会をつくること。それはこれからのあり方を探るための第一歩かもしれません。

原田 太郎

HARADA TARO

専門

生物学 植物学 園芸科学

研究キーワード 植物生理学 低酸素ストレス 水生植物 花き 生物教育 ESD

教育学域 准教授

大学院：教育科学専攻(修士課程) 担当

学位

博士(生命科学)(東北大学)

授業内容

植物の成長や環境応答の仕組みについて、生化学・分子生物学の観点からの理解を目指し、それらの科学技術や産業への応用についても学習します(教育科学特論(植物学))。また、植物の培養や解析に必要となる考え方やテクニックを学習します(教育科学特論演習(植物学))。

主要研究課題

植物の成長と環境応答の生理学的機構、特に水生植物や花きの低酸素応答について、またそれらの生物教育および学際的教育(ESDおよびSTEAM教育)への活用について研究しています。

もっと知るには





01
ヒーローより
怪獣に夢中

私はアニメなどのキャラクターでは怪獣が好きな子どもでした。ヒーローよりも生き物。他にも虫や動物、恐竜、化石など、そういうものが大好きでした。そして、無酸素で伸びられる水草の研究に辿り着きました。興味は植物に限らず、生物の神秘のに惹きつけられ続けています。

原田の植物学

05
教育を通して
植物を見る



日本生物教育学会に所属し、「生物教育」の研究にも努めています。幼稚園から大学までのあらゆる校種の先生、生物教育関係機関の方々の発表やワークショップを通して、「教育のための生物学」というベクトルで知見を深めています。登場する生物や着眼点はさまざまで、学生にとっても視野を広げるよい機会になっています。

02
植物の研究で
柔軟性を知る



テーマは生物学、植物学、特に植物生理学になります。ミクロな視点でヒトや動物とは違う「柔軟」な生き方を研究しています。所属する学生の皆さんには、1つの研究課題に取り組みながら、観察や実験に没頭してもらいます。

06
植物とESD



今、注目しているのが「植物認識格差」。子どもたちは動物に比べて植物への関心が低く、その価値を認めにくいと言われており、それが持続可能性教育の妨げになっているという考え方です。生物教育を通じて持続可能な社会の構築に貢献するため、学生と一緒にこれから力を入れていきたいテーマの1つです。



03
突き詰める
という人生経験

1つの研究を深掘りし、スペシャリストになるという経験は、人生において非常に有意義です。例えば、学校で理科を教えることで、その本質は知識習得ではなく、対象への向き合い方。その指導には、スペシャリストを目指した自分の経験が大きな武器になるでしょう。

研究



教育



創造性

07
花育のための
ラボプロジェクト



学生をはじめとする植物学研究会メンバーによって充足したプロジェクト。植物を教育に活用するために、緑化活動や市場視察、生産者との交流、花育授業などを通じて実践的な知識を深めます。また商品の共同開発や他学校との交流など、研究室の枠を飛び出してアクティブな活動が行われています。

04
生物が
得意でなくても○



生物の専門的な知識を持ち合わせていなくても、問題ありません。例えば、当研究室を選んだ人の中には、これまでに物理や化学は学んだから、あえて植物を学びたいという人もいます。植物を研究することの醍醐味は異質な存在に向き合うこと。そんな経験を積んでみたい方は、大歓迎です。

08
ともに研究を進める
専門家たち



研究室以外にも外部の様々な専門家たちと連携して進めることができます。一例を挙げると、
・花き地方卸売市場、生産者
・DOWAホールディングス
・チュウブグリーン研究所
・創志学園高等学校
・岡山県中学校教育研究会 岡山支部理科部会 等

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

植物研究って、実際どう？

卒業生の実績

花の生理学

研究室で初めて切り花の低酸素包装、トルコギキョウの形質転換実験に成功。彼は小学校コースに在籍していましたが、より専門性を生かせる中学校理科教師になりました。

卒業生の実績

無酸素培養装置

研究室で初めて無酸素培養装置を構築し、日本産アヤマ属植物の根茎の無酸素耐性を実証。教職大学院に進学し、修了後、小学校教師になりました。

卒業生の実績

生物発光

高校で生物を学んでいないからと敬んで植物学研究室を選んだ彼女は、コロナ禍の中、研究室で初めて生物発光を用いたATP測定に成功。その後は公務員として活躍しています。

研究テーマ例

低酸素応答・耐性機構

植物はヒトなどと異なり低酸素環境下でもある程度生きることができる種も。低酸素培養システムを使用して機構解明と、教材としても活用可能な植物種の探索を進めています。

研究する上で

植物を通して

生命って何なんだろう、人間って何なんだろうというところに究極的な興味があります。植物という異質な存在を研究することで、その答えに近づいていきたいと思っています。

創造性教育

植物と会話できる？

創造性教育の一環で行われるこの授業では、人間が植物とどのように関わっていくことができるのかを考え、植物とのコミュニケーションを探ります。

楽しいよ



原田 太郎

HARADA TARO

専門

生物学 植物学 園芸科学

研究キーワード 植物生理学 低酸素ストレス 水生植物 花き

もっと知るには



あなたは 数学のことを知ってる？

私は *NO* だと思う。

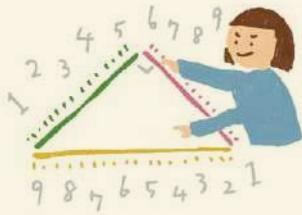
正確には、数学の一部しか知らない人がほとんどだと思います。それなのに、苦手意識を持つ人が多すぎる。論理的思考やひらめき力を養うツールとしても最高のものに。例えば私の専門領域トポロジーでいうとドーナツもコーヒーカップも区別しません。だって、どちらも穴が1つあいてるから。そんな数学も存在します、なんだか面白そうでしょ。



中川 征樹 NAKAGAWA MASAKI	専門	数学	
	研究キーワード 幾何学、トポロジー、数学教育		
教育学域 教授	授業内容	主要研究課題	もっと知るには 
大学院: 教育学専攻(修士課程) 担当	教育学専攻(修士課程)では、専門分野の如何を問わず、数学の基礎的な素養を身に付けておくことは必須だと考えています。中でもトポロジーやグラフ理論の基礎知識は、コンピューターの発達に伴って急速に進化する現代社会では、修得すべき基礎知識の一つであると言えるでしょう。本専攻では、その基礎理論を学び、合わせて現代社会への様々な応用についても学ぶことになるでしょう。	私の専門はトポロジー、中でも代数的トポロジーと呼ばれるものです。これは「図形」、より一般に「空間」に対して、それらに付随する「ホモロジー群」や「基本群」といった代数的な道具や手法を用いて、「空間」の性質を調べる分野です。最近では、このトポロジーと代数学の一分野である「組合せ論」とが交差する「シューベルト・カルキュラス」や「離散モース理論」などにも興味をもって研究しています。	
学位 博士(理学)(京都大学)			

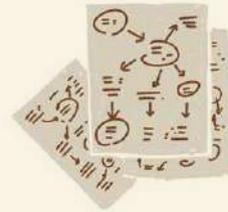
中川の数学

01 数学を学んでいたという強みを手に



数学は、気づく・考える・ひらめく・組み立てる、といった創造性を養う一連の要素を兼ね備えています。論理的思考力の習得のみならず、「なるほど!」と気づいた時の感動は、あなたの内に眠る創造性も呼び起こすでしょう。

05 卒業生が証明した数学の構成員



修士論文で、文化人類学者レヴィ=ストロースの「構造主義」を扱った卒業生は、「権力現象」の数理モデルを構築するという未知の領域に挑みました。数学者が関わる論文も少なく、参考文献探しや研究にも苦労しましたが、その努力が見事な成果を生みました。未知のテーマに挑戦する姿勢は、数学の学びを通して培った力がいかに他分野でも役立つかを示す好例でした。

02 さらにトポロジー 数学の中でも幾何学



トポロジーは図形のつながりや構造を研究する数学の一分野です。例えば、先述のコーヒーカップとドーナツは「穴が1つ」という性質が同じため、トポロジー的には同じとみなされます。形そのものではなく、性質に着目する点が特徴です。

06 才能は生まれつきか？ 鍛えられるのか？



才能は遺伝か、環境・努力かは意見がわかれますが、私は後天的に努力で身につけられると信じています。鍵は好奇心と「わからないことを楽しむ力」です。数学を通して色々な経験を積むことでそれを鍛えることができるかもしれません。あなたの才能も数学を通して花開く瞬間が訪れると信じています。

03 ひらめく人になる トレーニング法



ひらめき力のある人に憧れるが、そんな簡単になれない、そう思いませんか？実はトレーニング法があります。それは、問題を抱え続けること。すぐに調べたり諦めたりせず、正しく問題と向き合う事でその能力を鍛えられます。そのコツを数学を通して伝えていきます。

幾何学



感動



成長

07 高校程度の数学の知識で十分



小中高の数学があれば十分です。特に高度な数学を使わなくても、身近な疑問の数々に答えることができます。例えば、垂れ下がった電線。この電線の曲線、どのような曲線か知っていますか？実は「放物線」ではなく「カタナリー曲線」と言い、高校数学(数III)で学びます。

04 考える骨格を築くもの



何かをシンプルに整理したり、隠れた課題を発見したり、解決に導いたり、相手を説得したりする力。これからの社会に必要なスキルを突き詰めると、数学に行き着きます。ここでの学びを通して問題解決や論理的思考の力を磨き、社会に貢献できる人材に成長できるはずですよ。

08 日常が楽しくなる



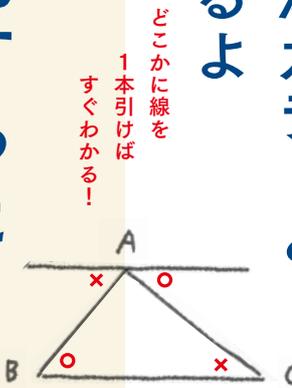
数学を学ぶと、虹を見て「美しい」と感じるだけでなく、「なぜ円形なのか」「どうして七色に見えるのか」と数理科学的に探求してみたくありませんか。数学の視点を持つだけで、日常の風景が新しい輝きを見せ始め、より深く楽しむ力を与えてくれます。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

三角形の内角の和は
なぜ180度かわかる？

たった一本の線で
世界がガラッと
変わるよ



数学で感動すると
人間力が育っていく

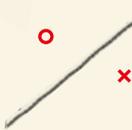
数学って公式暗記して
難しい計算ばかりだと
思ってるない？

ほとんどの人は、
数学が発展していく様を
知らない。

一回でいいから、
ああ、そうかと。
体験するのが
やっぱり
大事なんじゃ
ないかなと。

数学の研究って、
誰にでもできるよ。

線を1本引くと
2つに分かれる。



なら2本目の線を引くと？

例えば平面上に直線を1本引いてみよう
すると平面は2つの部分に分けられる。
では平面上に2本の直線を引いてみよう。
このとき、平面は、
2本が平行ならば3つに、
2本が交わるならば4つに分けられる。
では平面上に
3本の直線を引くとき、
平面はいくつに分けられますか？
ほら、もうあなたは数学の
研究に足を踏み入れていますよ！

何のために勉強するのか。
自分のために
するんじゃないよ。
世のため人のために
するんだ。本当に。

戦争だつてずっとやって
いるのに何にも解決しない。
ただどずっと考え続けてほしい。

自分の力で人生を
切り拓いて
行ってほしい。
それが学生への
わたしの願い。



中川 征樹

NAKAGAWA MASAKI

専門

数学

研究キーワード 幾何学、トポロジー、数学教育

もっと知るには



子どもの心を 強くするなんて無理？

私は **NO** だと思う。

思春期・青年期は大きく成長すると同時に心のバランスが崩れやすい時期。そうなる前に様々な経験にふれ、準備をすることで、困難に負けないしなやかな心を育てることは可能だと考えます。

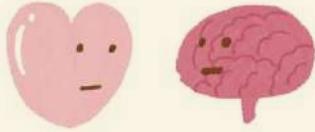
そこで心理学の視点は多くのヒントを与えてくれます。子どもがより良い毎日を過ごせるように。データに基づいた心理学による予防教育は、これからさらに必要とされることでしょう。



三宅 幹子 MIYAKE MOTOKO	専門	発達心理学 教育心理学	
	研究キーワード 児童期・青年期の発達 自我発達 対人関係 情報モラル ピア・サポート		
教育学域 教授	授業内容 発達心理学特論・発達心理学特論演習:学齢期の子どもの発達について、現代的教育的な視点も含めて学びます 教育科学研究の方法(調査法、実験法):教育現場での科学的議論に耐えうる客観データの収集法、客観データから科学的な結論を導き出す方法を学びます	主要研究課題 子どもの社会性育成やインターネット使用、思春期・青年期の自我発達などを研究しています ・子どものインターネットの自律的使用態度・スキルの育成 ・ピア・サポートプログラムによる社会性・人間関係能力の育成 ・自我発達・アイデンティティの発達	もっと知るには 
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当			
学位 博士(心理学)(広島大学)			

三宅の発達心理学

01 小・中・高校・大学生の発達心理学



発達心理学の中でも特に子どもが大人になっていく過程を研究しています。特に、知識や思考力が急速に伸びる時期に、心の成長がそれに追いつかないことで生じる「知と心のズレ」からくる課題にフォーカスし、発達段階に合わせて、適切な支援策を提供していきます。

05 ネットのアイデンティティ予防



現代の子どもたちが直面するネット依存やネットトラブルに関する研究と予防に取り組んでいます。特に初めてネットの世界に入る小中学生に対して、適切な利用方法やリスク回避の方法を身につけてもらうことを重視して、子どもたち自身が議論を通じて適切な使い方を考えられるよう支援しています。

02 立ち向かう力を授ける予防教育



思春期・青年期の問題に対して、問題が発生する前に対処する力を育むのが予防教育。子どもをストレスから守るのではなく、発達段階に応じてストレスと付き合う力を身につけさせることが大切だと考えています。特に社会性や人間関係構築の領域での予防教育に力を入れており、困難に直面しても対処したり立ち直れる力を育てることを目指しています。

06 セルフの心理学、アイデンティティの心理学



思春期・青年期は人生の航路を見定める自分探しの時期。子どもの自分に別れを告げ、新しい大人としての自己(セルフ)の像、すなわちアイデンティティを創っていきます。そのプロセスでは自分へのまなざしが深まり、時には新しい自己像を見つけきれない苦しみも味わうことに。この道筋について理解を深めていくことも青年期の発達心理学の主要なテーマの1つです。

03 教えるより大切な漢方薬的スタンス



現場に行き、子どもたちに行うアプローチは、何かを教えるのではなく、「どうしたらいいだろうね」と一緒に議論すること。子どもたちが自ら考え、議論し、自分たちで解決策を見つけていく過程を重視しており、即効性のある特効薬ではなく、時間をかけて内側から変化を促す「漢方薬」的な教育方法を実践しています。

07 研究テーマは自分で見つけられる



研究テーマを見つけることに苦労する学生さんは少なくありません。でも、自分でしっかり悩み心から「自分の時間と労力を捧げてもいい」と思えるテーマを選ぶことで、研究の困難に直面してもやり抜くモチベーションになると考えています。また、「テーマを選ぶだけでなく、テーマからも選ばれている」という視点を大切にしてほしいと思っています。

04 ピア・サポート



同年代や異年齢の子どもたち同士が互いに支え合い、学び合う関係を築くピア・サポートの考え方を大切にしています。このアプローチは学校現場での実践だけでなく、研究室運営においても理想的で、上級生が下級生を指導し、下級生は上級生から学ぶという縦のつながりを大切にしてほしいと思います。

データ
サイエンス



心理学

08 データサイエンスと心理学



データサイエンスを活用し、心理学への新たなアプローチを模索しています。数学も好きだし、人のことを考えるのも好き。科学的に人の心を読み解き、伝えられるようになりたい人にはぴったりの研究室だと思います。教育学研究科の教育科学専攻教育データサイエンス学位プログラムでは発達行動科学特論演習も担当しています。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

宿題うつさせて!

「宿題うつさせて!」って、もし友達に言われたどうする?そんな場面でふるまい方を小学校の授業で子どもたちに考えてもらった事もありました。その中で、「友達の頼みを断るのは仲良くないじゃないですか」と意見がでて驚きました。子どもにとって「仲良く」とは波風を立てないことと解釈されることもあるのです。そこに正解も間違いもありません。「どうして出来なかったのか寄り添う」、「一緒にやろうと誘う」など、解決策を考えるうちに子ども心はしなやかに鍛えられると思っています。

子どもたちの生活をよくしたい

ビッグデータと臨床像を紡ぎ合わせる

大量データと向き合う現代では、それを読み解く上で正しい「ピント合わせ」が不可欠です。ビッグデータは、自分がじかに触れて取得したデータとは違い、読み解くのにセンスと経験が求められます。データに意味を見出し、自分だけの視点で分析するには体系的分析力と人間への深い理解の両方が必要です。データという素材を人間的洞察力で射抜く訓練に、ここは最適な研究室かもしれません。

どうして対人関係で悩むのか

一言でいうと、経験不足が背景にあることを無視できないと考えています。近所の子と喧嘩したり、叱られたり、褒められたり。いろんな貴重な経験をすることによって身につけてきたものが今は少なくなっています。だからそういう子たちに口だけでこうすればいいんだよとスキルを教えてもダメなんです。やっちゃいけないことを頼まれたら?仲間の悪口聞いたら?そういう子どもたちがつまづきそうな事を疑似体験する機会を、授業を通して提供してあげればと思います。

現場まると育ちあう

ピア・サポートを学生と教育現場で実践する際には、子どもの様子以上に意識しているのが、子どもをとりまく周囲の動向です。主に先生方に見ていただくのは子どもがどう動くかということ。「働きかけによる子どもの行動の変化」を先生に体感していただき、子どもをとりまく私達自身の目線を変えていく。それを通して大人たちが本当の「褒め上手」や「励まし上手」に育っていくことが大事です。

三宅 幹子

MIYAKE MOTOKO

専門

発達心理学 教育心理学

研究キーワード 児童期・青年期の発達 自我発達 対人関係

もっと知るには





あなたは事実を見ていますか？

私は *NO* だと思う。

日常風景、毎日会う友達を、あなたは本当に「見ている」でしょうか。美術で表現するには、見えていることの奥にある「見えない世界」を感じとる必要があると考えます。きっとこうだろう、という決めつけだけでは「真実」の表現にはなりません。そのためには、色々な視点を増やす美術教育が必要かもしれません。

松浦 藍 MATSUURA AI	専門	美術教育学	
	研究キーワード 絵画教育 創造性 表現		
教育学域 助教	授業内容	主要研究課題	もっと知るには 
大学院：教育科学専攻(修士課程) 担当	紙コップを高く積み上げる過程で感じる他者との関係性、徹底的に機械を分解すると見えてくる「何か」等、自分が生きている世界を感じ、自分だから見つけられる価値と一緒に模索しましょう。	自分にとって「新しい価値」を模索し続けて生きるにはどうすればいいのかを、五感の感受という視点から考えています。経験したこと、理解できることの外側に手を伸ばせる美術教育は可能なのか、可能ならばどんな要素が必要なのかを、子ども達の姿を分析し、現場の先生方と議論を重ねています。	
学位 博士(学校教育学)(兵庫教育大学)			

松浦の美術教育学

01 新しい価値に
気づくために



図画工作や美術の授業では、価値なんてないと思ったものを、子どもたちの力で素敵な「何か」につくり変える創造的な営みがなされています。ここでは、子どもも学生も大人も新しい価値に気づくための「きっかけ」について日々研究しています。

05 創造性教育と
コミュニティ



近年叫ばれる創造性教育の必要性。私の美術教育もこの考え方をベースにしています。日常生活に潜む面白いことを、学びをととして見出すことができる能力の育成。クリアボやANCsといったコミュニティや、先端授業、ワークショップなど、理念を共有した学びが多数用意されています。

06



創造的な教員を養成するために何が必要か。そんな視点から生まれた授業や活動にはユニークな内容も多くあり、実際にアーティストの方からも高い評価を得ています。ここでしか体験できない活動を通して、子どもを見るスキルや、新たな視点が生身に付くことでしょ。

授業内容
ちよつと変わった

07 現職の先生と
学べる機会



全国の学校や幼稚園の先生方との研究チームを作り、勉強会を月に1回ペースで開いています。学生はそこに参加して、自分の実習を現場のリアルに沿ったリフレクションができています。生の声を聴きながら成長できるのは貴重な機会です。

03 どうして論文を
書くのか



なぜこの時代に、この場所で、このような作品を作る必要があるのか。独自性はどこにあるのか。自分も周囲も納得できるように、調べて考える。この経験を通して、1つの物事を様々な視点で見られるようになります。これは、実際に教師になってからも大きな差となって現れます。

04 本気の制作活動を
してわかること



真剣に作り、発表する子どもの気持ちは、自分も同じプロセスを体験しないとわかりません。例えば100号を超えるような大きな絵画を描く。うまくいかない、やり直したくない、そんなネガティブな感情との向き合い方は経験しておくべきです。油彩画家としても活動する私が、優しくサポートしますよ。

創造性



調整力

08 絵がうまくない？
全然大丈夫ですよ



この研究室への入口は、「図画工作や絵画」と「創造性教育」の2つ。絵が得意な人ばかりではないので安心して下さい。学生とは世代も近いので、さまざまな議論や世間話も大歓迎です。卒業生からも、この時間が貴重な経験だったと語られることが多くあります。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

大人の造形遊び

機械製品を
徹底分解……で、
どうする？

身近な家電製品を徹底的に分解します。解放された心で、素材と向き合う「大人の造形遊び」。



創造性教育

紙はどこまで
高く積み上げ
られるのか？

いろんな条件を生かして、紙をできるだけ高く積み上げます。有利な条件、不利な条件、コミュニケーションとアイデアが試されるチームアクティビティ。

ワークショップ

教室を学べない空間に
つくりかえてみる？

答えが無い
をつくる？

創造性教育



生まれ続ける

授業や活動の一部

創造性教育

風を触って見る？

体に触れる風の形と色彩を感じます。触って感じた見えない風を見えるようにして、みんなと共有する。さてどこから始めてみようか。



ワークショップ

10メートルの
折り紙で
鶴を折る？

びわ湖で
本気で遊ぶ？

大人の造形遊び

つまらないを
つくる？

創造性教育



ワークショップ

実寸の
アニメーションを
作る？



松浦 藍

MATSUURA AI

専門

美術教育学

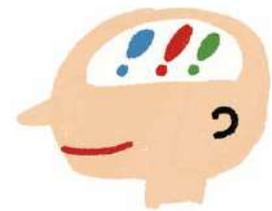
研究キーワード 絵画教育 創造性 表現

もっと知るには



岡山大学
大学院教育学研究科教育科学専攻

岡田 和也 人文・社会 / 文学一般
笠井 俊信 教育工学 教育情報工学
高橋 徹 身体教育学
大熊 正哲 経済学
津島 愛子 学校保健医科学
原田 太郎 生物学 植物学 園芸科学
中川 征樹 数学
三宅 幹子 発達心理学 教育心理学
松浦 藍 美術教育学



岡山大学
大学院教育学研究科教育科学専攻

教員 図 鑑
PROFESSOR FILE

Vol.01

デザイン：船越亮太

発行日：2025年7月17日

発行者：岡山大学大学院教育学研究科教育科学専攻

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学 大学院教育学研究科教育科学専攻
TEL 086-252-1111(代表)

<http://edu.okayama-u.ac.jp>